

那賀支部

今を「戦前にしない」ために

支部目標達成へあと一息

コロナ禍での行動制限も緩やかになり、那賀支部も5月の国会請願へ向け、署名目標の達成を目指して取り組みを強めています。2月には「しんぶん赤旗読者への署名のお願い」の文書と署名用紙に返信用封筒をセットにして届けた。そのセットにする作業を支部役員で行ったが、その中ででの雑談は、岸田軍拡政治への怒りから始まり、国賠署名の目標の確認から互いの健康・疾患報告まで多岐にわたりました。

3月は
3・13
重税反対
集会和共産党の演説会では、参加



3600筆の請願署名を発送

5月16日に行われる国会請願への署名は、3600筆を中央本部宛に発送しました。会員の奮闘が、昨年を上回る実績となり、全国のたたかひの一翼となります。本年の請願署名は和歌山県域で請願紹介人になる国会議員がいないため、他府県の国会議員の手にゆだねられることとなります。

者に「請願署名のお願い」のビラを作り署名の呼びかけを行いました。また、メーデー集会でも(写真)支部役員で署名集めをしました。

個々の署名運動では、今年も山林恵美子さんがすでに200筆を突破して支部の牽引車の役割を果たしてくれているなど、支部目標にあと一息まで迫っています。

統一地方選挙の県議選挙では、会員の杉山俊雄さんの「再選」を果たせず残念無念でしたが、この「悔しさ」を力に変え、今を「戦前にしない」ため頑張っていけます。

(支部長 高瀬 賢司)

こだま

激戦だった統一地方選挙が終わった。候補者も支援者も奮闘したが同盟会員も複数惜敗するという残念な結果となった。しかし今、悔しがって躊躇してはいられない。決して「新しい戦前」など許さず、「再び戦争と暗黒政治を許すな」の気持ちで、粘り強く奮闘しよう。◆今年の憲法記念日は、施行から76年目の憲法記念日だ。安倍、菅、岸田と続く自公の改憲を企む政権と、それに輪をかけて煽る維新等の策動を許してはならない。◆日本の政府は、「日本国民は、国家の名譽にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ(憲法前文)という、「日本国憲法」に基づく姿勢にあるべきは当然である。第九条の戦争の放棄、第十三条の「すべての国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については…立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」等々。これらの憲法に明記されていることは、国民が守ることではない。政府が実行すべきことなのだ。◆世界に誇れる憲法が、生かされる国にしなくてはならない。

【学習の頁】

安保3文書って何？

軍需(防衛)産業支援法と 産業の軍事化の始まり

安保3文書に基づき、二つの悪法が今国会で審議中です(5月10日現在)。

軍拡財源確保法(本紙3月号で一部紹介)と軍需(防衛)産業支援法です。

軍需(防衛)産業支援法は安保3文書で盛り込まれた軍需産業の基盤強化や武器輸出の官民一体での推進を具体化するものです。

法は、アメリカ主導の対中国包囲網の

法案のポイント	
▼防衛装備品の輸出支援	
仕様変更などに助成する基金を創設	
▼生産基盤強化の経費を国が負担	
①供給網の強靱(きょうじん)化②製造工程効率化③サイバー④事業承継——の4分野が対象	
▼国が製造施設買い取り	
ほかに手段がなければ、製造施設の国有化と企業への管理・運営委託が可能に	
▼情報管理を厳重に	
「装備品等秘密」の漏洩に刑事罰	
▼供給網リスクを把握しやすく	
企業は防衛省の調査に回答の努力義務	

日本経済新聞〈速報ニュース〉
(2023.2.10)より

日本の軍事的役割を果たすために推進

されています。

《兵器産業の基盤強化》では自衛隊の任務遂行に不可欠な兵器製造企業がそれに必要な部品や供給網の強化、セキュリティ強化をするときに政府がこれら経費を直接負担する(23年度予算363億円)。

防衛省の契約上位から		
契約金額 (億円)		献金額 (万円)
4591	①三菱重工業	3300
2071	②川崎重工業	300
966	③三菱電機	2000
900	④日本電気	1500
757	⑤富士通	1500
575	⑦IHI	1000
417	⑧SUBARU	1700
342	⑨日立製作所	4000
183	⑩小松製作所	800
181	⑫ダイキン工業	520

(注)防衛省防務局資料、政治資金収支報告書(2021年分)で作成。丸数字は契約金額順位

『しんぶん赤旗』2023.4.26より

《製造施設の国有化》では、これらの企業の経営がうまくゆかなくなつたときは国有化し、他の企業に管理運営させることができるようにする。

《武器輸出の円滑化》に関しては、政府の求めに応じて武器を製造する企業に援助します。今まで殺傷能力のある

武器の輸出は禁止でしたが、これが解禁されます(23年度予算400億円)。

《秘密保全義務》これらの企業に従事する事業者や労働者に「秘密保全義務」が課せられます。秘密を漏洩すれば、1年以下の懲役または50万円以下の罰金が科せられます。「秘密保護法」が牙を剥き出し始めます。

以上みてきただけでも、政府が軍需産業を育成し産業の軍事化が推進されることが分かります。護衛艦や戦闘機、戦車などを製造する三菱重工業、日立製作所、川崎重工業などを筆頭に、下請け中小企業を含めると、戦闘機で1100社、護衛艦で8300社、戦車で1300社があるとされています。

また、防衛省・自衛隊の兵器は、主に国内の軍事企業とアメリカの軍事企業から調達・購入します。23年度アメリカとの契約は1兆4768億円で、アメリカの巨大軍事産業のもうけを保証したのもでもあります。



『犠牲者名簿』(第2版)から (47)

西本 勇

(にしもと いさむ)

本籍 和歌山県有田郡

1931年10月9日

新興教育研究所支部のメンバーとして周参見町で検挙され(23歳)、同月26日和歌山地方裁判所検事局に身柄送届にされたが、起訴はされなかった。

1931年4月、日置尋常高等小学校に赴任し、奥村榮一、浦四郎らの農民、木材労働者などの青年グループの中心となる。後に有田に帰り、小学校校長を務めた。

1928年、和歌山師範学校卒業。



『和歌山県の治安維持法犠牲者』(第2版、同編訂書館版)から、いろいろ紹介しています。

紀のくに歳時記散歩 4

紀のくに和歌山の歴史ある名所仏閣・碑などを気軽に散策します。

紀三井寺 (1)

湧きでる三つの井戸があることから、紀三井寺と呼ばれますが、正しくは「紀三井山金剛宝寺護国院」。770年の開基と言われますから、粉河寺と同時期開山の古刹です。

本堂のすぐ前に、氣象台が和歌山県の桜の開花を確認する標本木があります。

本堂前の歌碑と桜

本堂のすぐ前にあるのが万葉集の歌碑。

名草山言にしありけりわが恋の

千重の一重も慰めなくに

作者不詳 卷七・一一二二三
(1977年 和歌山市建立)

写真(上)は万葉歌碑と奥の大屋根が、護国院・紀三井寺の本堂です。その間に桜の標本木があります。

紀三井寺といえば、正面の楼門から見上げる急な230段の石段も、名物のような



ものですが、昨年(2022年)4月に、石段の横にケーブルカー(写真下)とエレベーターが設置され、バリアフリー化が進んでいます。

見上ぐれば

桜ももうて紀三井寺

松尾芭蕉

よく知られたこの芭蕉の句の碑は、石段を登らないと見られません。

文化財のいろいろ

古刹・紀三井寺は、総檜造りといわれ、入母屋造の本堂が県指定の重要文化財。

楼門、鐘楼、多宝塔は、それぞれ国指定の重要文化財です。

急な石段を登って、本堂の前の参道につくと「600年受け継ぐ歴史」という巨木・楠の木(和歌山市指定の天然記念物)もあります。

紀三井寺六百年の楠若葉

鶴田至

松露掻く遠ちの薨は紀三井寺

轡田進

紀三井寺には、芭蕉、松尾塊亭、五橋亭などの多くの句碑があります。次回に紹介します。

参考資料：地名俳枕必携 紀三井寺。パンフレット

(瀬戸 正男)

